

The background of the image is a scenic landscape featuring a range of mountains in the distance, covered in green forests. In the middle ground, there's a valley with some buildings and trees. The foreground is a grassy field with some dry patches. The overall atmosphere is peaceful and natural.

TATEHO RECRUITING INFORMATION



どんな場所にも、道はある。
人と自然を技術で結ぶ。
TATEHOにできる事。

つくる喜び、最高のモノづくり。

TATEHOは、道路舗装やガードレールや災害対策の施工工事など、皆様が日頃目にする“当たり前”を作り、守る企業です。私達が携わる多くの工事は、街を創る工事であり、誰が作ったかは関心の無い事かもしれません。私達の“つくる喜び”とは、そこに住んでいる地域の方が喜んでくれる事です。直接、感謝の言葉をかけてくださる方もいますが、例え声をかけられなくても私達が施工した、道路や設備が地域に受け入れられ実際に使われている日常を見た時が喜びを感じる瞬間です。

そして“最高のモノづくり”とは、私達の仕事に対する誇りと責任です。道路の補修工事ひとつでも、そこには地域の安全と生活が関わってくる事を自覚しております。だからこそ“当たり前”を守る高い技術に加え、近隣と自然に配慮し共存できる、プロの仕事を心掛け続ける事が、私達が考える最高のモノづくりです。





安心して使える道や橋。
災害を未然に防ぐ川の堤防やダム。
土木技術で、社会インフラを
支える企業です。

度重なる災害で私達の防災意識は大きく変わりました。
個人で、災害が起こった時のために準備している方も多くみえますが、
街のインフラの事はどうしようもありません。
だからこそ、TATEHOIはひとつの工事に、社会的責任と誠実さを実感し、
住んでいる人達の“当たり前を支える事”を喜びとしています。



総合建設会社として、
地域に、そして社会に大きく貢献できる
会社を目指しています。

当社は平成30年7月30日に「株式会社 立保」に社名を変更し、同時にわたくしが代表取締役に就任いたしました。

これまでの当社の事業と伝統を受け継ぐとともに、建築業や農業の分野にも参入し、社会基盤であるインフラ整備を担う総合建設会社として、よりいっそう成長し、社会に貢献できるよう精進してまいります。

また人と人、地域とのつながりを大切に、当社の事業を通じて地域のみなさまの安心・安全な生活を支えられるよう、全社をあげて努力していきたいと考えております。

株式会社立保 代表取締役

安江 将利



施工実例



平成29年度
可中工第2902号
県営中山間地域
総合整備事業
東白川地区大明神集落道
第2号工事



平成27年度
総工第23号
越原上ヘリポート建設工事



平成29年度
可治工第2909号公共
復旧治山事業
手掛け岩2工事



平成24年度
可林第2号
公共林道事業
尾城山線2工区工事



平成29年度
工砂第急29-24号
公共 防災・安全交付金
(急傾斜地崩壊対策事業)
工事



平成21年度
第8-1-K-1号
公共 通常砂防事業
森の平谷

社員同士が助け合う社風

当社は伝統的に社員誰もが分け隔てなく、助け合える風土が根付いています。若い世代が多いため新入社員も溶け込みやすく、たとえ土木建築の経験がなくても入社後は先輩社員がマンツーマンでついてサポートしていくので安心してください。また、当社ではワークライフバランスを大切にした働き方を積極的に推進し、社員のみなさんが気持ちよく働ける環境づくりにも取り組んでいます。



社内研修で資格取得をサポート

立保では、仕事で必要な資格やスキルアップのためのサポートを手厚く行っています。例えば社内研修会を随時実施しているほか、土木施工管理技士をはじめとする国家資格等の取得にかかる費用も全面的にサポートしています。社内に有資格者が多いため、わからないことがあればすぐに質問や確認ができる環境があるのも当社ならではです。



立保はチームワークを大事にする会社です。

そしてチームワークには

互いに「助け合う」心が欠かせません。

だからこそ当社は、なによりも「人」を大切にします。

人がいるから、モノづくりができる。

人を育てるから、いいモノができる。

それが立保のモットー。

社員が働きやすい環境づくりや

一人ひとりが成長するためのサポートは惜しみません。

あなたもチーム立保の一員として、

共に助け合いながら働いてみませんか？

助け 合 う 会 社





あなたが仕事で
大切にしていることはなんですか?

誇り

2014年2月入社
土木事業本部 技術管理部 係長

地域の人の役に立っていると 実感できるのが仕事の魅力

現在は土木の仕事で、現場管理を任せています。設計図通りに工事が進んでいるかを確認したり、指示をするのが主な仕事で、発注者との連絡調整やスケジュール管理も含まれます。これまで担当してきたのはダム建設の現場が多いですね。1つの案件に携わる期間は7~8か月くらい、長いと1年くらいかかる場合もあります。当社が行う公共工事は半永久的に形として残ることが多いので、完成後も自分が担当した現場を通るたびに、「これが自分の仕事だ」と思い返せる機会があるのは張り合いにつながります。だからこそ胸を張って誇れる仕事をしなくては、という気持ちになります。自然が相手のことが多いため、天候に左右されたり、体力的に辛いこともありますが、なにより、自分たちが建てたものが地域の人の役に立っている、と感じられることが大きなやりがいになっています。

人間関係が良好で、 とても風通しのよい会社です

私がこの会社に転職したのは、若い同世代の仲間が多いことも決め手になりました。実際に入社してみると、社員全員がとても仲が良く、プライベートでも親しくさせてもらっています。人間関係の良さは社内の風通しの良さにもつながっていて、自分の考えを先輩社員にも伝えやすいですし、改善点などの提案もすぐに取り入れてもらえることが多いですね。またスキルアップについても、会社がサポートしてくれるのがとてもありがたいなと感じています。資格取得のための勉強会を社内で実施してくれるのですが、少人数で行われるので、わからないことも質問しやすい雰囲気です。先輩たちが親身になって教えてくれるので、これからは自分が後輩からなにを聞かれても答えられるように、もっと知識と経験を増やしていきたいと思っています。





初めての建築の仕事に 戸惑いながらも楽しんでいます!

立保には、短大卒業後に新卒として入社しました。入社前にアルバイトをさせてもらっていたのですが、社内の雰囲気が良く、先輩との距離も近くて親身に仕事を教えてくれたので、ここでなら長く働いていけそうだと感じました。これまで土木の仕事をしてきましたが、現在は初めて任された建築の仕事で病院建設の現場管理の仕事を行っています。土木と建築では図面の単位表記なども違い、見方も異なりますので戸惑うことも多く、経験を積みながら同時に勉強をしているところです。苦労もありますが、短大時代に建築を専攻していたため、やりたかったことをやらせてもらっているという楽しさがありますね。病院が完成するまで、この建築に関わる業者さんたちとはもちろん、地域の方とのコミュニケーションを大切にしながら、初めての現場をしっかり全うできればと思っています。

仲間は仕事の喜びや達成感を 共に味わえる大切な存在

この会社はチームワークがとても良いので、どんなことに対してもお互いに助け合うのが当たり前になっています。自分が経験したことがない工事を担当する時は、先輩や仲間が常に気にかけてくれ、アドバイスやアイデアをくれることも多いですね。また県から表彰を受けた時などは、その現場以外の人も喜んで、仲間と一緒に喜びを分かちあいます。そういう環境にいると、次は自分も!という前向きな気持ちになれますね。会社がワークライフバランスを大切に考えてくれているため、家族との時間も大切にできるので、今の働き方にはとても満足しています。お休みもきっちりとれますし、プライベートな予定も立てやすいですよ。今後は、建築と土木、両方のプロフェッショナルとして仕事をさせてもらえるように、いっそう頑張っていきたいと思っています。



株式会社立保



<https://www.tateho.com/>

 つくる喜び 最高のモノづくり
TATEHO

株式会社 立保

岐阜県加茂郡東白川村越原1351

TEL.0574-78-2565

[受付時間] 平日8:00~17:00

